

## 第11期(2023年度) 事業報告(1)

2024. 4. 20

2023年度は、3年間に及ぶ新型コロナ感染が一定の落ち着きを見せるなか、それまで大きな影響を受けて、縮小や延期、見直しなどを余儀なくされていた事業活動も少しずつ環境が整い、各プロジェクトのメンバーの強い思いと努力、それに加えて会員各位の協力・支援を得て、年度当初に予定されていた事業計画を予定通りに推進することができた。

具体的事業活動として「名作の舞台裏」や「放送人グランプリ」などの事業を実施したほか、「放送人の証言」として新たに4名分を収録、「デジタルアーカイブプロジェクト」では証言の利活用を図るとともに、TBS メディア総研が発行する「調査情報デジタル」で、証言の抄録の連載を開始することができた。

また、年4回の会報発行を中心とする広報活動やラジオプロジェクトの「利き酒の会」の実施、「放送人句会」の実施など可能な限りの事業を積極的に推進した。

更にNHK 問題検討会では、「NHK 経営計画(2024-2026 年度)」に対する意見を提出し、放送法勉強会を開催した。また情報交換交流の一環としてコロナ後初めて放送人の会・懇親会を実施し会員相互の交流を深めた。

## 第11期(2023年度) 事業報告(2)

### 【事業】

#### 1, 『名作の舞台裏』(放送番組センターと共催)

第53回「名作の舞台裏 『聖母モモ子の受難』」の実施

(2024年1月20日(土)情文ホール・横浜情報文化センター6階)

#### 2, 『人気番組メモリー』・・・未実施

#### 3, 『放送人の世界～人と作品～』+『ドキュメンタリーワールド』・・・未実施

#### 4, 『放送人グランプリ』

第22回放送人グランプリ各賞および第9回大山勝美賞の贈賞

#### 5, 『放送人の証言・収録』

河本哲也(NHKOB)、関口恭司(テレビ朝日 OB)、太田直子(フリー)、坂田信久(NTV OB)

(4名収録順)

#### 6, 『放送人の証言 デジタルアーカイブプロジェクト』

- ① 上記「名作の舞台裏」において、堀川とんこう氏の「証言」を取入れた新しい試みを行い、観客から好評を得た。
- ② 3月からはTBSの子会社で、放送人の会の賛助会員でもあるTBSメディア総研が発行する「調査情報デジタル」で、証言の抄録の連載を開始した。
- ③ 収録された証言の文字起こしに、Nottaというアプリの使用を開始した。
- ④ iUとの共同作業にはほとんど新たな進展はないが、昨年春にアップされYouTubeでは、兼高かおる氏の証言が5.9万回の視聴数を得ている。

#### 7, 『ラジオプロジェクト』

「ラジオ聞き酒の会」の開催。

2023年7月12日

2024年1月17日 TFM「海を越えたシティポップ」 『放送人グランプリ2023』候補の

ラジオ番組を募集、投票。

## 8、『情報交換交流』

放送人の会・懇親会2023年9月30日(土曜日)の実施

(千代田放送会館1階 ラウンジ千代田にて開催)

## 9、『放送人句会』

4月11日(火)、6月13日(火)、8月8日(火)、10月10日(火)、12月12日(火)、2月13日(火)

会場は全て赤坂麦屋。レギュラー出席者は7名。更に多くの参加を求める。

## 【会報の発行】

- ① 98号(2023年6月16日)「放送人グランプリ2023」贈賞式&総会(5月20日)の報
- ② 99号(2023年9月29日)「消夏座談会」(9月16日)、会員短信
- ③ 100号(2023年2月10日)会員アンケート、「下馬評座談会」(1月24日)、第53回名作の舞台裏(1月30日)、鶴橋康夫さんを偲んで

【ホームページ】…適宜の更新。

【フェイスブック】…有効活用の検討

## 【NHK 問題検討会】

「NHK 経営計画(2024-2026 年度)」に対する『意見募集』に応じ、放送人の会として意見を提出。(2023年11月1日)

放送法勉強会『放送法を読んだことがありますか』を開催(講師:立教大学砂川浩慶教授)。

(2024年12月11日)

## 【総務】

- ① 『会議の開催』…総会・理事会・懇親会ほか各種会議の設定および運営
- ② 『経理業務』…予算・決算他日常の会計業務
- ③ 『会議資料作成・管理』…各種会議の資料及び管理業務
- ④ 『賛助金申請』…放送文化基金など
- ⑤ 『各プロジェクト対応』…「放送人グランプリ」、「名作の舞台裏」「会報発行」ほか
- ⑥ 『総務一般』…事務局の運営含む日常的な事務業務